

IM-Workflow

Version 7.2

リリース・ノート

2016/01/08 第17版

1 はじめに

1. 本ドキュメントは本製品固有の要件を記載しています。以下に記載のないものは、全て intra-mart WebPlatform/ AppFramework の要件に準じます。
2. 本製品を使用するには、intra-mart WebPlatform/ AppFramework Version7.2 アドバンスド版 または、エンタープライズ for BPM 版 が必要です。
3. 本製品を使用するには、IM-共通マスタが必要です。
4. 弊社では、本ドキュメントに記載されている『検証済み環境』にて動作確認をおこなっています。
5. 弊社の提供するドキュメントに記載の無い全ての事柄は、サポート対象外です。
6. 本製品に関する最新の技術情報やパッチ情報は下記のサイトをご覧ください。
Developer Support site : <http://www.intra-mart.jp/developer/index.html>
7. 本製品に関するドキュメントは、下記のサイトにおいて最新のドキュメントが公開されています。最新のドキュメントをご利用ください。
製品最新情報ダウンロードページ : <http://www.intra-mart.jp/download/product/index.html>
8. 本製品には、以下によって開発されたソフトウェアが含まれています。ソフトウェアのライセンスについては、各ライセンスシートをご参照ください。

OSS 製品	version	licenses	URL
GreyBox	5.53	LGPL	http://orangoo.com/labs/GreyBox
Open-jACOB Draw2D	0.9.21	LGPL	http://draw2d.org/draw2d/

licenses	
LGPL	GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1

2 システム要件

2.1 サーバ要件

intra-mart WebPlatform／AppFramework Version7.2 のサーバ要件に準拠します。

2.2 環境要件

次の環境をサポートしています。

2.2.1 Java-VM

intra-mart WebPlatform／AppFramework Version7.2 の環境要件 (Java-VM) に準拠します。

2.2.2 サーバ(Server Manager および Service Platform)

OS
Windows Server 2003 R2
Windows Server 2008
Windows Server 2008 R2
RedHat Enterprise Linux 5
Solaris 10
AIX 6.1

2.2.3 Application Runtime(アプリケーションプログラムの実行エンジン)

サーバ製品		OS
WebPlatform	Resin 3.1	Windows Server 2003 R2 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 RedHat Enterprise Linux 5 Solaris 10 AIX 6.1
AppFramework	IBM WebSphere Application Server V7.0 Oracle WebLogic Server 11g Release 1	※メーカーが公表している製品のプラットフォームをご確認ください。

2.2.4 データベース

RDBMS 製品
Oracle Database 11g Release 2
IBM DB2 9.7
Microsoft SQL Server 2008
PostgreSQL 8.4

2.2.5 Web Server Connector (WebPlatform(Resin)のみ)

OS	Web サーバ製品
Windows Server 2003 R2	IIS6.0
Windows Server 2008	IIS7.0
Windows Server 2008 R2	IIS7.5
Windows Server 2003 R2 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2	Apache2.2.x (DSO サポート版)
RedHat Enterprise Linux 5	Apache2.2.x (DSO サポート版)
Solaris 10	Apache2.2.x (DSO サポート版)

2.3 クライアント要件

PC 版におけるクライアント要件は以下のとおりです。

ブラウザ	OS
Microsoft Internet Explorer 7.0	Windows Vista SP2
Microsoft Internet Explorer 8.0	Windows Vista SP2 Windows 7
Microsoft Internet Explorer 9.0	Windows Vista SP2 Windows 7
Microsoft Internet Explorer 10.0(※3)	Windows 7 Windows 8
Microsoft Internet Explorer 11.4(※4)	Windows 7 Windows 8.1

Firefox 3.5 (※1)	Windows Vista SP2 Windows 7
Firefox 6.0 (※2)	Windows Vista SP2 Windows 7
Safari 4.0	Max OS X 10.6 (Snow Leopard)
Safari 5.1	Max OS X 10.6 (Snow Leopard)

(※1) Firefox 3.5 は、継続して弊社製品でのサポート範疇ですが、Firefox3.5 自体のサポートが終了しているため、障害の原因が Firefox3.5 自体で起因する問題の場合、弊社では対処できませんのをご了承ください。

(※2) Firefox は高速リリースサイクルに移行し、今後 Firefox の新バージョンが順次リリースされます。

[参考]Firefox のリリーススケジュール <https://wiki.mozilla.org/RapidRelease/Calendar>

今後の Firefox の新バージョンについても順次サポートいたします。ただし、障害の原因が Firefox 自体で起因する問題の場合、弊社では対処できませんのをご了承ください。

(※3)Internet Explorer10 は、デスクトップ用 Internet Explorer のみです。Windows UI の Internet Explorer はサポート対象外です。

Internet Explorer 10 を利用する場合は、Response ヘッダに「X-UA-Compatible: IE=EmulateIE9」を追加するフィルタの設定を行う必要があります。設定方法の詳細は「intra-mart WebPlatform / AppFramework セットアップガイド」の最新版(7.2.6 以降)を参照してください。

(※4)Internet Explorer11 は、デスクトップ用 Internet Explorer のみです。Windows UI の Internet Explorer はサポート対象外です。

Internet Explorer 11 を利用する場合は、Response ヘッダに「X-UA-Compatible: IE=EmulateIE9」を追加するフィルタの設定を行う必要があります。設定方法の詳細は、弊社 FAQ サイトの FAQ 番号:366 を参照してください。

また、Internet Explorer 11.2 以下のバージョンでは、一部画面でエラーが発生します。最新のマイナーバージョンをお使いください。

スマートフォン版におけるクライアント要件は以下のとおりです。

ブラウザ	OS
Safari (iOS 標準搭載)	iOS 4.2
Browser (Android 標準搭載)	Android 2.2

IM-WorkflowDesigner におけるクライアント要件は以下のとおりです。

OS
Windows Vista SP2
Windows 7

2.4 検証済み環境

以下、弊社動作検証済み(推奨)の intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせを記します。弊社では以下の環境をサポートしますが、intra-mart 製品以外(OS、JDK、DB、Mail サーバ等)に起因する問題が発生した場合は保証致しかねます。

2.4.1 Service Platform および Server Manager

サーバ OS	ミドルウェア
Windows Server 2008 R2 Enterprise	Java SE Development Kit 6u17 for Windows x64
Red Hat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64
Solaris 10	Java SE Development Kit 6u17 for Solaris SPARC
AIX 6.1	IBM 32-bit SDK for AIX, Java Technology Edition, Version 6

2.4.2 Web Server Connector (WebPlatform(Resin)のみ)

サーバ OS	ミドルウェア
Windows Server 2008 R2 Enterprise	IIS7.5
Solaris 10	Apache2.2.14 (DSO サポート版)

2.4.3 Application Runtime

intra-mart 製品	Web Application サーバ
intra-mart WebPlatform	Resin 3.1.9
intra-mart AppFramework	IBM WebSphere Application Server Ver. 7.0.0.3
	Oracle WebLogic Server 11g Release 1 (10.3.2)

2.4.4 データベース

データベース	サーバOS	接続方法	接続に必要なソフトウェア
Oracle Database 11g Release 2	Red Hat Enterprise Linux 5.1 Advanced Platform	JDBC (Type4 非XA)	Oracle JDBC Driver 11.2.0.1.0 (ojdbc6.jar)
Microsoft SQL Server 2008	Windows Server 2008 R2	JDBC (Type4 非XA)	Microsoft SQL Server JDBC Driver 2.0
IBM DB2 9.7	Windows Server 2003 R2	JDBC (Type4 非XA)	DB2 JDBC Driver (IBM DB2 9.7に付属) Type4
PostgreSQL 8.4.2	Red Hat Enterprise Linux 5.1 Advanced Platform	JDBC (Type4 非XA)	JDBC4 Postgresql Driver, Version 8.4-701

2.4.5 検証環境

No	Web/Application サーバ	サーバ OS	JDK	データベース	サーバ OS
1	Apache2. 2. 14 (WebServer Connector) + intra-mart WebPlatform (Resin)	Solaris 10	Java SE Development Kit 6u17 for Solaris SPARC	PostgreSQL 8. 4. 2	Red Hat Enterprise Linux 5. 1 Advanced Platform
2	intra-mart AppFramework (IBM WebSphere Application Server)	AIX 6. 1	IBM 32-bit SDK for AIX, Java Technology Edition, Version 6	IBM DB2 9. 7	Windows Server 2003 R2
3	intra-mart AppFramework (Oracle WebLogic Server 11g Release1)	Red Hat Enterprise Linux 5. 4 Advanced Platform	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64	Microsoft SQL Server 2008	Windows Server 2008 R2
4	IIS7. 5 (WebServer Connector)	Windows Server 2008 R2	Java SE Development Kit 6u17 for Windows x64	Oracle Database 11g Release 2	Red Hat Enterprise Linux 5. 1 Advanced Platform
	intra-mart WebPlatform (Resin)	Red Hat Enterprise Linux 5. 4 Advanced Platform	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64		

2.4.6 クライアント

PC 版

- Windows Vista SP2 + Microsoft Internet Explorer 8.0
- Windows 7 + Microsoft Internet Explorer 8.0
- Windows Vista SP2 + Microsoft Internet Explorer 9.0
- Windows 8 + Microsoft Internet Explorer 10.0
- Windows 8.1 + Microsoft Internet Explorer 11.4
- Windows Vista SP2 + Firefox 3.5
- Mac OS X 10.6.2 + Safari 4.0.5
- Mac OS X 10.6.8 + Safari 5.1(6534.50)

スマートフォン版

- DoCoMo GALAXY S SC-02B
- DoCoMo LYNX 3D SH-03C
- Apple iPhone4

IM-WorkflowDesigner

- Windows Vista SP2
- Windows 7

3 制限事項

1. 本製品は、「データベース」および「Storage Service」にデータを保存します。そのため、データ数の増加により「Storage Service」のサーバリソースも必要と致します。

※ 「Storage Service」に保存されるデータは、“ノード数“および”アクション数“に比例し増加します。

下記の例を参考に、「Storage Service」のサイジングを行ってください。

- ◆ ノード数 : 5 個([開始]→[申請]→[承認]→[承認]→[承認]→[承認]→[終了])
 - アクション数 : 5 回の場合 ⇒ 200KB
 - アクション数 : 10 回の場合 ⇒ 360KB
- ◆ ノード数 : 10 個([開始]→[申請]→[承認]→[承認]→……→[承認]→[承認]→[終了])
 - アクション数 : 5 回の場合 ⇒ 400KB
 - アクション数 : 10 回の場合 ⇒ 730KB

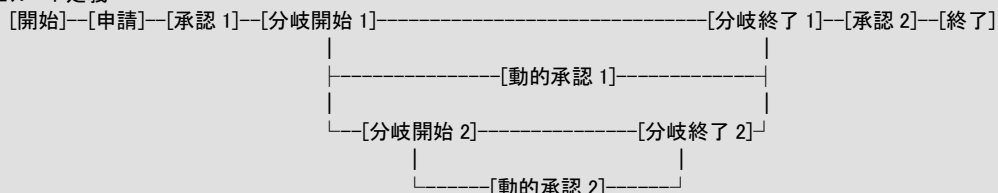
2. ~~ブラウザに、Firefox および Safari を使用した場合に、申請/承認画面等(レイヤを重ねる画面)において Backspace キーを押下すると ClientSideJavaScript エラーが発生する場合があります。~~
3. intra-mart AppFramework において、IBM WebSphere Application Server を使用した場合に、「案件終了処理・到達処理・メール送信の同期/非同期制御」を”false:同期(thread を使わない)”に設定してください。” true:非同期(thread を使う)”として使用することはできません。
4. ~~案件操作において終了ノードを指定して移動した場合に、処理終了後表示される一覧画面(未完了案件)に現在処理を行った案件が表示される場合があります。~~
5. 「ルート設定 - バージョン - 編集」画面において、下記のような場合に対象者が解除されます。このような場合は、ノードを接続後に、対象者を設定して下さい。
 - [承認ノード]を配置し、対象者を設定した後に、申請/承認ノードをこのノードに接続した場合に、対象者が解除される。
 - [申請/承認ノード]-[承認ノード]のようなルート(接続)があった場合に、[申請/承認ノード以外]-[承認ノード]のようにルート(接続)を変更した場合に、[承認ノード]の対象者が解除される。
 - [[申請/承認ノード以外]-[承認ノード]のようなルート(接続)があった場合に、[申請/承認ノード]-[承認ノード]のようにルート(接続)を変更した場合に、[承認ノード]の対象者が解除される。
6. 同期ノードを含むルート定義において、同期外から同期内へ案件操作で移動を行った場合に、同期内の全てのルートが同期結合ノードへ到達しても同期結合ノードで停止します(この場合、同期結合ノードの次のノードには進みません)。
7. [フロー参照]画面において、フロー図(ルートの図)が全て表示される前に「画像出力」ボタンを押下すると、フロー図(ルート図)が表示されません。この場合、「最新情報」ボタンを押下することで、フロー図を再表示することが出来ます。
8. [フロー参照]画面の「画像出力」機能および API「WorkflowImageManager」は、フロー図(ルート図)のノード数に比例してメモリを消費します。そのため、ノードを多数配置した場合に“Out of memory”が発生する場合があります。この場合、サーバの設定等を見直し、適切な設定を行ってください。
9. 代理設定において、代理先に設定されているユーザに処理権限がある場合に、処理依頼メールが 2 通送信されます。
10. メール送信機能において使用されるメールアドレスは、ユーザプロフィールに設定される「メールアドレス1」のみを使用します。

11. ~~「分岐開始」ノードと「分岐終了」ノードの間に、ノードが1つも無くなってしまうようなルートを作成した場合に、ルート定義で作成した通りにルート(線)が戻らない場合があります。~~

例)

下記のようなルート定義において、以下の手順で操作を行った場合に、ルート(線)が消えてしまう。

■ルート定義

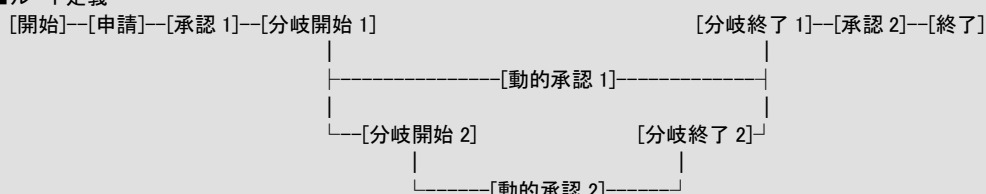


■手順

- 1.[申請] : 申請
→[動的承認 1]・[動的承認 2]を有効
- 2.[承認 1] : 承認
→[動的承認 1]・[動的承認 2]を無効
→全ての遷移先を選択
- 3.[承認 2] : 差戻し
→[承認 1]
- 4.[承認 1] : 承認
→[動的承認 1]・[動的承認 2]を有効
→[動的承認 1]・[動的承認 2]を除いた遷移先を選択

⇒この時、下記のようなに[分岐開始]と[分岐終了]の間にノードがないルート(線)が消えてしまう。

■ルート定義



12. 「IM-Workflow Ver.7.2 Patch04」をインストールするには、「intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.2 Patch03以降」が適応されている必要があります。
13. 申請/承認処理において、下記のようなノードを設定する場合に、設定するノードの数に比例して処理時間が増加します。
 - ・[縦配置]
 - ・[横配置]
 - ・[動的承認]
14. スマートフォン版が動作するには、intra-mart WebPlatform / intra-mart AppFramework Ver.7.2 patch 3 以上、及び IM-Workflow Ver.7.2 patch 3 以上が必要です。(スマートフォン版はパッチ 3 に同梱されています) インストールについては、intra-mart WebPlatform セットアップガイド「3.6 スマートフォンでの利用について」または intra-mart AppFramework のセットアップガイド「3.5 スマートフォンでの利用について」に従ってスマートフォンの設定を有効にしてください。
15. スマートフォン版の画面では、申請／再申請／振替 処理は行えません。
16. スマートフォン版の画面では、処理や引き戻しなどの際の根回しメールを送ることはできません。
17. スマートフォン版の画面では、添付ファイルは端末のブラウザが対応しているファイルタイプのみダウンロードして表示することができます。
18. スマートフォン版の画面では、処理の際に縦／横配置や動的承認、確認ノードの処理対象者の設定を行う必要がある場合、処理種別「承認」は実行できません。

19. スマートフォンで処理を行う場合、アクション処理にユーザパラメータを渡すことができません。
20. スマートフォン版の統合未処理画面で操作する事ができるドキュメントワークフローについては、intra-mart WebPlatform / AppFramework Version 7.2 のリリースノートに記載の制限事項に準じます。
21. IM-WorkflowDesigner はシステム管理者をターゲットとしたツールとなります。管理グループ機能がないため運用管理者としての利用ができません。
22. IM-WorkflowDesigner は Eclipse (Eclipse 3.4.2) ベースで提供されており、次の制約があります。Eclipse 3.4.2 は 32bit 版のみの提供となっているため、64bit OS での検証は行なっておりません。中国語のランゲージパックが不完全なため、英語で表示される部分があります。
23. IM-WorkflowDesigner は Windows7 で利用した場合、コンボボックスの色が付かない場合があります。クラシックモードでは問題ありません。
24. IM-WorkflowDesigner はフロー定義のカレンダー検索画面で、カレンダーID のみを表示します。(Web 版のようなカレンダーコンポーネントは表示しません)
25. IM-WorkflowDesigner は一覧表示パターンの標準設定について、Web 版のような制御を行っていません。理由として、全ての一覧表示パターンを Web 側から取得しているとは限らないため、標準設定を判断することができない可能性があるためです。一覧表示パターンのデプロイ後は、Web 画面で標準設定について再度見直しを行ってください。
26. IM-WorkflowDesigner は設定情報取得でアイコンを取得した場合、アイコンを反映するには IM-WorkflowDesigner の再起動が必要となります。
27. IM-WorkflowDesigner のテキストエリアコンポーネントのフォーカス遷移ですが、次遷移は、Ctrl + Tab 、前遷移は Shift + Tab となります。
28. IM-WorkflowDesigner のカレンダーコンポーネントは 利用 OS のロケールに依存します。
29. IM-WorkflowDesigner で作成するマスターID は、大文字小文字を区別しません。
(例. ルート ID に「Test」が既に登録されている場合、「test」を新規に登録することができません)
30. IM-WorkflowDesigner のロケール同期は、Web 側とのロケール過不足を調整する機能となります。
31. IM-WorkflowDesigner で備考欄に null が入っていた場合、「備考」をキーにしたソートが機能しない場合があります。この場合、IM-WorkflowDesigner の再起動を行う事で回避できます。
32. IM-WorkflowDesigner のルートデザイナーと、Web 側のルート詳細画面で表示されるノード位置が若干異なりますが、設定値自体に相違はありません。
33. ワークフローアーカイブモジュールにおいて、移行後 (IM-Workflow) のフロー情報の一部レイアウトが崩れて表示される場合があります。これは移行前 (旧ワークフロー) と移行後の (IM-Workflow) との実装方式やデータの持ち方に相違があるためで、次の条件で発生する可能性があります。
 1. 配置するタスクの配置間隔が狭い場合
 2. 「手動タスク」を除外設定してアーカイブ実行を行った場合
 3. サブプロセスや、分岐、同期ルートにおいて複雑なルート定義を行っている場合
34. メール定義において件名、本文を省略した場合、メールが送信されないことがあります。この挙動はメールサーバに依存されます。
35. 申請ノード、または承認ノードの直後にテンプレート置換ノード (テンプレート内の先頭ノード=承認ノード) を配置したとき、案件申請後の案件操作-ノード編集画面で保存済ノード設定の反映が正しく動作しません。

36. Internet Explorer 9 を使用した場合、申請時に分岐先を設定するフローの申請画面で、ルート選択テーブルの枠線が表示されません。
37. ~~システム運用稼働後に IM-Workflow の多言語コンテンツ(英語、中国語)を追加インストールする事は製品として動作保障外です。多言語コンテンツをご利用の際は、システム稼働開始前に IM-Workflow 本体と同時にインストールしてください。~~
38. ワークフローパラメータ(param_system.xml)において同期設定(arrive-process-async が false)の場合、処理ノードの到達処理内で承認された場合に次の処理ノードの到達処理が失敗します。このとき、下記のようなログが出力されます。
- [WARN] j.c.i.s.w.p.p.a.a.AbstractAutoProcEvent - スレッド自動承認処理が別スレッドの同時承認処理のため失敗しました。
39. 既に展開された横・縦配置ノードが再展開されると、再展開前に処理したノード ID と違う ID に変更されます。履歴情報テーブルにある処理時のノード ID でフローXML から処理名情報を取得しようとしても、そのノード ID は既に削除されて再展開されたノード ID に変更されていますので、取得できなくなり、デフォルトの処理名が表示されることになります。また、動的ノード、横・縦配置ノードが削除された場合も同様になります。
40. 既に展開され処理された横・縦配置ノードが再展開されると、ノード ID が変更されるため、到達処理に再処理者自動承認が設定されたノードで自動承認が行われません。
41. IM-Workflow 多言語版を追加インストールした環境で IM-Workflow を利用可能とするには、アクセスセキュリティ情報、IM-共通マスタ情報、IM-Workflow マスタ情報の国際化情報を設定する必要があります。
42. 多言語版インストール後に開始された案件については、権限をもつすべてのユーザで利用できます。しかし、多言語版インストール前に開始された案件や終了した案件については、追加されたロケールを設定しているユーザはその案件を処理または参照することができません。多言語版インストール前にインストールされていたロケールに切り替えることで案件を処理または参照することができます。
43. 印影機能を利用する際に、押印が必要な処理を処理期限自動処理バッチで行うと、システムユーザ(imw^system)というユーザで処理を実行する結果になるため、常用印が取得できず、アクション処理がエラーとなり、自動処理に失敗します。
※システムユーザ(imw^system)は、ユーザコードに IM 共通マスタの登録できない禁止文字(^)を使用しています。
44. 処理画面にて、ファイル名を変更しファイル添付を行う場合は適切な拡張子を付ける必要があります。
45. Internet Explorer10 のサポート対象は、デスクトップ用 Internet Explorer のみです。Windows UI の Internet Explorer はサポート対象外です。Internet Explorer 10 については、サイト「[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ie/hh771832\(v=vs.85\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ie/hh771832(v=vs.85).aspx)」を参照してください。
46. Internet Explorer 10 を利用する場合は、Response ヘッダに「X-UA-Compatible: IE=EmulateIE9」を追加するフィルタの設定を行う必要があります。設定方法の詳細は「intra-mart WebPlatform / AppFramework セットアップガイド」の最新版(7.2.6 以降)を参照してください。

47. コピーしたフロー定義、ルート定義、コンテンツ定義の編集を行った後、インポートを行うと『設定を解除しました。』というメッセージが表示されることがあります。

【理由】

編集によりノード設定情報が残る場合があります、これがインポートチェック条件に該当してしまうため発生します。(編集前の情報を復活できるようにするため、ノード設定情報を残しています。)

【オペレーション】

以下の様なオペレーションを行った場合、発生する可能性があります。

1. コンテンツ定義_A、ルート定義_A、フロー定義_A、ルール定義_Aを作成します。
2. コンテンツ定義、ルート定義、フロー定義を各バージョン編集画面にて各定義のコピーを作成します。
3. ルール定義_Bを作成します。
4. コンテンツ定義_B に設定されているルール定義_A を削除します。
5. コンテンツ定義_B に設定されているルール定義_B を新規作成します。
6. フロー定義_B にルール定義_B を新規作成に追加します。
7. コンテンツ定義_B、ルート定義_B、フロー定義_B、ルール定義_B のエクスポート処理を実行します。
8. エクスポートされたデータをインポートします。

【影響】

内部情報がインポートチェック条件に該当してしまうのみのため、当該ケースではインポート処理に影響はありません。

48. 分岐内に複数のルートが存在する場合、あるルート上に存在するノードから分岐外への差戻しを実行後、差戻し後引戻しを行うと、他ルート上にあるノードの復元処理が実行されます。復元されるノードの処理対処者が振替されていた場合、処理対象者の復元は下記の挙動となります。
- 復元される前の処理が「(振替先のユーザによる)保留」の場合、復元されたノードの処理対処者は保留したユーザのみとなります。保留解除後も保留したユーザのみのままとなります。
 - 復元される前の処理が「引戻し」「差戻し後引戻し」以外の場合、復元されたノードの処理対処者は振替前の状態となります。
49. IM-Workflow の標準処理画面(graybox)を開いたままでセッションタイムアウトとなった場合、「×」アイコンを押下しても標準処理画面(graybox)を閉じることができません。

【原因】

セッションタイムアウトが発生してしまうと、サーバ通信処理を行う事ができません。そのため、「閉じる」ボタンを押下した際の処理が実行できず、標準処理画面(graybox 画面)を閉じることができません。

【回避方法】

以下のいずれかの方法で再度ログインし、IM-Workflow の処理を再度実施してください。

1. 画面上に「LOG OUT」アイコンが表示されている場合、アイコンを押下してください。
 2. 画面上にメニューが表示されている場合、任意のメニューを押下することでセッションタイムアウト画面が表示されます。その後「ログイン画面へ戻る」ボタンを押下してください。
 3. 標準処理画面(graybox)上に「フロー設定」アイコンが表示されている場合は、アイコンを押下することで標準処理画面(graybox)にセッションタイムアウト画面が表示されます。その後「ログイン画面へ戻る」ボタンを押下してください。
 4. ブラウザにログイン URL を再入力してください。
50. IM-WorkflowVersion.7.2.10、および、intra-mart Accel Platform 2013Winter から、DB シーケンスを利用した案件番号の採番処理が提供されています。IM-WorkflowVersion.7.2.10 から intra-mart Accel Platform に移行する場合は、intra-mart Accel Platform 2013Winter 以降のアップデートを対象にして移行してください。
51. Internet Explorer11 のサポート対象は、デスクトップ用 Internet Explorer のみです。Windows UI の Internet Explorer はサポート対象外です。Internet Explorer 11 については、サイト「[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ie/hh771832\(v=vs.85\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ie/hh771832(v=vs.85).aspx)」を参照してください。

52. Internet Explorer 11 を利用する場合は、Response ヘッダに「X-UA-Compatible: IE=EmulateIE9」を追加するフィルタの設定を行う必要があります。設定方法の詳細は、弊社 FAQ サイトの FAQ 番号:366 を参照してください。また、Internet Explorer 11.2 以下のバージョンでは、一部画面でエラーが発生します。最新のマイナーバージョンをお使いください。
53. トランザクションデータ等の IM-Workflow が扱う「Storage Service」上の各種ファイルに関して、配置先へのシンボリックリンク経由でのアクセスはサポートしません。ワークフローパラメータ「データ保存関連の設定」は実ディレクトリを指定してください。
54. IM-Workflow が扱う「Storage Service」上の各種ファイルに関して、Linux の場合、複数のパーティションを跨ったディレクトリ/ファイルの配置はできません。

4 これまでに判明している問題

特にありません。

5 著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。
各ソフトウェアのライセンスについては、同封のライセンスシートをご参照ください。

以上

6 変更履歴

変更年月日	変更内容
2010/04/28	初版
2010/07/30	第2版 「3 制限事項」(1)の説明を修正および追記しました。 「3 制限事項」(4)を削除しました。 「3 制限事項」(6,7,8,9)を追加しました。
2010/10/29	第3版 「3 制限事項」(2)を削除しました。 「3 制限事項」(10,11,12)を追加しました。 「5 著作権および特記事項」を修正しました。
2010/11/11	第4版 「3 制限事項」(13)を追加しました。
2011/01/31	第5版 スマートフォン対応の記述を追加しました。
2011/04/01	第6版 IM-WorkflowDesigner の記述を追加しました。 「3 制限事項」(12)を修正しました。
2011/04/13	第7版 「3 制限事項」(22)を修正しました。 「3 制限事項」(31,32,33,34,35)を追加しました。
2011/11/18	第8版 「3 制限事項」(36)を修正しました。 「2.3 クライアント要件」および「2.4 検証済み環境」のブラウザに以下が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorer 9.0 ・ Firefox 6.0 ・ Safari 5.1
2012/03/19	第9版 「3 制限事項」(37)を追加しました。
2012/06/05	第10版 「3 制限事項」(38, 39,40)を追加しました。
2012/10/31	第11版 「3 制限事項」(37)を削除しました。 「3 制限事項」(41)(42)を追加しました。
2012/12/19	第12版 「3 制限事項」(39) の説明を修正および追記しました。 「3 制限事項」(43)を追加しました。 「3 制限事項」(44)を追加しました。

2013/07/16	<p>第 13 版</p> <p>「2.3 クライアント要件」 および 「2.4.6 クライアント」 のブラウザに以下が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorer 10.0 <p>「3 制限事項」 (45) を追加しました。</p> <p>「3 制限事項」 (46) を追加しました。</p>
2014/04/01	<p>第 14 版</p> <p>「3 制限事項」 (47) を追加しました。</p> <p>「3 制限事項」 (48) を追加しました。</p> <p>「3 制限事項」 (49) を追加しました。</p> <p>「3 制限事項」 (50) を追加しました。</p> <p>「3 制限事項」 (51) を追加しました。</p> <p>「3 制限事項」 (52) を追加しました。</p> <p>「2.3 クライアント要件」 および 「2.4.6 クライアント」 のブラウザに以下が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorer 11.04
2014/04/17	<p>第 15 版</p> <p>Microsoft のサポート終了に伴い、WindowsXP に関する記述を削除しました。</p>
2015/04/01	<p>第 16 版</p> <p>「3 制限事項」 (11) を削除しました。</p>
2016/01/08	<p>第 17 版</p> <p>「3 制限事項」 (53) を追加しました。</p> <p>「3 制限事項」 (54) を追加しました。</p>